



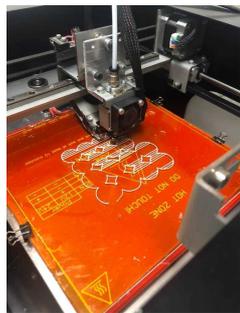
波佐見のお土産「らくがん くらわんか」 3Dプリンタを利用した和菓子の開発

一般社団法人 金富良舎 長崎県窯業技術センター

「らくがん くらわんか」のモチーフとなった
波佐見焼製造風景（生地製造工程）

波佐見のお土産「らくがん くらわんか」の製品化について、3D技術を利用したデザインから
サンプル製造までの工程を支援しました。

波佐見のお土産「らくがん くらわんか」の開発工程

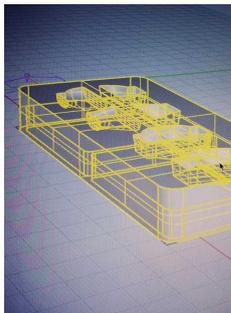


①
3Dプリンタで「らくがん」の形状デザインを検討

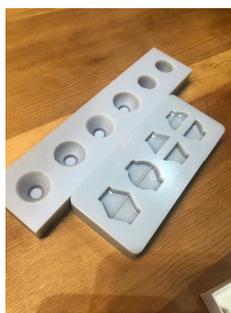
使用した3Dプリンタ
株式会社Magnarecta : Lepton2



②
3Dプリントしたサンプルで菓子箱への組み込みを確認



③
サンプル作製用の型の3Dデータを作成



④
「らくがん」製造用の型を3Dプリンタで作製

使用した3Dプリンタ
ストラタス社ObjectEden260VS



⑤
3Dプリンタで作製した型で「らくがん」を試作



製造

波佐見のお土産「らくがん くらわんか」の紹介

手仕事でつながる「やきもの」と「お菓子」
すっきりと下幾何学的なフォルムから細かい細工の表現まで熟練した手仕事で成せるもの

波佐見焼は型に陶土をつめて作ります。落雁も型に粉糖をつめて作ります。
この「らくがんくらわんか」は、陶器の産地、波佐見町の風景をかたどった落雁です。
焼き物の町として有名な波佐見町のちょっと話したくなるストーリーがあるお土産。
陶器のつくり方と同じ手法を使ったお菓子「らくがん」に注目し、
窯業技術センターの3Dプリンタを活用して試作、生産用の型も3D切削技術によって作成しました。



生地屋

白い型が並ぶ生地屋さん
波佐見焼産地の風景



波佐見

「染付け」という
伝統的な器の風景



釉掛け

食卓を彩る
器のある風景

各900円
波佐見町内の店頭のみで販売

販売店
はなわくすい
アイユー
No.1210

【一般社団法人 金富良舎（こんぶらしゃ）】

金富良舎（コンブラシャ）の「コンブラ」とはポルトガル語の「コンブラドール（comprador）」に由来するもので、「仲買人」という意味。波佐見町を拠点に、アート×窯業、デザイン×農業、仕事×高校生、波佐見×海外など、ヒトとヒト、モノとモノをつなげ、地場産業と異業種のコミュニティの輪を創出し、波佐見発信の新しい文化や価値観を作り出すことを目的とした事業を展開している。

2019年4月に同町宿郷の旧銀行跡を改修し「交流・事業・文化」の拠点として、町内外の垣根を越えた活動へと動き始めている。

- 1、地域文化産業を維持するための後継者育成事業
- 2、地域や異業種連携による商品企画開発事業
- 3、イベント企画、環境デザイン、芸術による社会貢献活動
- 4、当法人の目的を達するために適当と認められる事業